

相談支援係
072-941-3365

情報チーム
072-943-5785

研究研修係
072-943-5784

教育センター
Web pageは
こちらから



研究協力員（算数・数学部会）公開授業



令和4年10月12日（水）午後1時45分～午後5時に研究協力員算数・数学部会の公開授業を長池小学校で行いました。この授業は長池小学校の校内授業研究会も兼ねていました。

授業者は下司有亮先生（少人数担当）で4年生の「式と計算の順じょ」の授業を行いました。算数・数学部会の研究テーマは「豊かに表現できる子ども～感じ・考え・そして活かす～ICTを効果的に活用した算数・数学的活動をめざし

て」で、研究会の討議の柱は「ICTを活用した効果的な算数の授業」でした。

＜授業の様子＞

授業支援ソフトを全面的に使用し、児童が相互に考えを交流していました。端末の使用については習熟していて、紙や鉛筆のように使用できていました。

＜討議の様子＞

ICTをフルに活用し、黒板やホワイトボードを一切使わないのが良いのか、それとも併用するのが良いのかという問題提起がなされました。様々な角度から検討した結果、現段階では併用していくのが望ましいという結論に達しました。その他、発問の仕方等について積極的な議論が行われました。

＜参加者感想＞

- ・4年生の児童が端末をスムーズに操作して意欲的に活動している姿を見て、自分の学校でもICTの活用を推進していこうと思った。
- ・研究討議では、画面と黒板を効果的に使う方法について気付かされるが多かった。
- ・授業支援ソフトの使用方法については初めてのものが多く、個人の学びと他児童との交流がうまく行われていた。
- ・黒板かディスプレイかについては、最終的には各児童の選択なのではないかと思った。



「音楽」授業づくり研修



令和4年10月18日（火）午後3時30分～午後5時に「音楽」授業づくり研修を本センターで行いました。研修講師は山口聖代准教授（桃山学院教育大学）です。研修テーマは「リズムを使った音楽づくり」です。①歌に合わせてリズムアンサンブル②身の回りのものを使ってリズムアンサンブル③言葉のリズムを使ってボイスアンサンブルを行いました。



<当日のレジュメより>

■それぞれ手前のテーブルの上にあるものを使って、リズムアンサンブルを奏でます。

▶ルール（枠組み）・・・身の回りの物を楽器として使うこと。

▶ポイント・ステップ・・・音色の違い、鳴らし方、重ね方を工夫しよう。
強弱の変化をつけよう。

▶あとは自由な発想に任せてみること・・・いくつかの展開やストーリーをつけるのも面白い。

<受講者感想>

・沢山の実践を教えていただき、すぐに子どもたちと一緒に取り組んで、音楽の楽しさを伝えられたらと思う。

・音楽づくりをする際には自分自身が楽しむことが、まず大切だと感じた。実際グループになって音を鳴らしてみるだけでも楽しく感じた。授業では友達といろいろな音を見つけるところからはじめて、協力して音を作る楽しさを伝えることができたらいと思う。

ICT 研究推進校最終報告会（美園小学校）

令和4年10月19日（水）午後1時40分～午後4時30分に ICT 研究推進校最終報告会（美園小学校）を行いました。本市では令和2年度～4年度にかけて市内4校を ICT 研究推進校として指定し、ICT 教育推進のための研究を行ってまいりました。今年度は最終年度にあたり各校の報告会が行われます。美園小学校の研究テーマは「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて～ユニバーサルデザインを取り入れて～」です。全体会では小川修史准教授（兵庫教育大学）より「“Society 5.0”時代の教育について改めて考えてみませんか？」をテーマに今後の授業づくりで大切な ICT の効果的な活用についてご講演いただきました。

3年生（支援学級） 合科（国語科・自主活動）「話し合って決めよう」
藪田 香 先生



1年1組 国語科
「じどう車くらべ」東浦 公美 先生



6年2組算数科
「比とその利用」 岸本 光広 先生



美園小学校の実践報告
池島 徳三 首席教諭



指導講評と講演
兵庫教育大学 小川 修史 准教授 ↓→



通級指導教室公開授業②



令和4年10月21日(金)午後3時~午後5時に通級指導教室公開授業②を本センターで行いました。講師は今村佐智子さん(一般社団法人発達支援ルームまなび)です。通級指導の様子を動画視聴で共有した上で、担当教員からの報告を受けました。これについて今村さんから具体的かつ多面的な方向からのアドバイスをいただきました。

＜受講者感想＞

- ・視聴した動画の中で、先生と話すのが好きで安心して学習に取り組んでいるように感じた。
- ・講義の中で、アセスメントの重要さや、実際の支援の方法などを具体的に教えてもらって、理解が深まった。
- ・一人ひとりの児童についてアセスメントを行い、その児童の実態に沿った指導を行うことの必要性を痛感した。
- ・得意分野と苦手分野をうまく取り入れていくことで学習意欲が高まることを再認識した。



ICT を活用した授業づくり研修①



令和4年10月24日（月）午後3時30分～午後5時まで「ICT を活用した授業づくり研修①」を行いました。講師は木村明憲先生（桃山学院教育大学）で、講義テーマは「ICT を使った具体的な授業づくり（シンキングツールの基本的な使い方）を考える」です。

<受講者感想>

- 新しい発見が多くあった。何事においても言えることだが、まずは使ってみよう、やってみよう挑戦することが大事だと改めて感じた。一方で日々の業務でなかなかそのための時間がとれないのが苦しいところである。
- シンキングツールについてグループで考えたことがとても学びになった。私は社会科担当であるが、シンキングツールを活用することはとても有益だと感じた。考えを視覚化してまとめることができる点が魅力的だと思った。

「道徳」授業づくり研修②

令和4年10月25日（火）午後3時30分～午後5時に「道徳」授業づくり研修②を本センターで行いました。研修講師は押谷由夫教授（武庫川女子大学）で、研修テーマは「子どもたちが主体的になる道徳授業づくり」（主に中学校）です。



<受講者感想>

- 道徳のまとめは生徒に書かせることが多く教師の話をする時間もあまりないのでまとめる時間も考えて計画してみようかと思った。
- 今日の講義を受けて、起承転結の「転」の部分に着目することの重要性を知ることができた。
- 自分の心が動く、話し合ってみたいポイントからスタートするという道徳の授業づくりの出発点を大切にしたいと感じた。
- 中心発問を軸にして、どのような発問で価値に迫っていくのか、授業の終末、締めくくりをどんな形で行っていくのか、道徳の授業づくりのスキルを高めていきたいと思った。

ICT 研究推進校最終報告会（高安小中学校）

令和4年10月26日(水)午後2時5分～午後4時50分にICT研究推進校最終報告会(高安小中学校)を行いました。本市では令和2年度～4年度にかけて市内4校をICT研究推進校として指定し、ICT教育推進のための研究を行ってまいりました。今年度は最終年度にあたり各校の報告会を行っています。高安小中学校の研究テーマは「コミュニケーションツールとしてのICT活用をめざした授業づくり～ICT活用とこれまでの教育技術との効果的融合をめざして～」です。全体会では豊田充崇教授(和歌山大学)より当日公開された授業についての指導・講評をいただき、ICTの効果的な活用についてご講演いただきました。

「すがたをかえる大豆」
3年1組 国語科 東口 浩司 先生



「自然災害から命を守る」
4年2組 社会科 長谷川 礼 先生



「Things to do in Japan」
8年2組 英語科 劉 崇治 先生



岩井 加寿子 教育委員（右端）



高安小中学校実践報告
東口 浩司 先生・水島 拓哉 先生



指導講評と講演
和歌山大学 豊田 充崇 教授



「道徳」授業づくり研修①



令和4年10月28日（金）午後3時30分～午後5時に、「道徳」授業づくり研修①を本センターで行いました。研修講師は島恒生教授（畿央大学）で、研修テーマは「深める授業づくりと発問のポイント」です。

<受講者感想>

- 道徳の授業は、特定の考えを教えるのではなく、内容項目がなぜ大切であるのかを児童自身が気づき、深めることが大事である、という話を聞き普段の自分の授業を反省した。
- 子どもに何を考えさせたいのかをしっかりと持ち、道徳的価値レベルで考えられるように、普段からの教育活動全体を見直していきたいと思いました。
- 中心発問をしっかりと考えたいと思いました。そして、子どもたちのつばやきのどこを大事にするか自分自身が正しく持っておくために教材研究をしっかりとしていきたい。

小学校「外国語活動」「外国語」授業づくり研修②

令和4年10月31日（月）午後1時45分～午後5時に安中小学校において小学校「外国語活動」「外国語」授業づくり研修②を行いました。授業は6年生のクラスで西原真信先生（英語担当）が『**Let's think about our food**』（NEW HORIZON Elementary English Course6 東京書籍）の単元で本田倫康先生（クラス担任）、Janine Malta(NET)と授業を行い、その後①「即興でやり取りする力をつけるためには」②「小中連携をどのように図っていくか」をテーマにグループ協議を行い、全体について竹内理教授（関西大学）から指導・助言を受けました。

※フォニックス 発音と文字の関係性を学ぶ音声学習法で、もともと英語圏の子どもたちに読み書きを教えるために開発されたものです。アルファベット毎の発音を先に学ぶことで、知らない単語でも、耳で聞いただけでスペリングがわかり、正しく書くことができます。

<受講者感想>

- 今日の授業でされていたフォニックスのやり方がとても効率的でいいと思った。ぜひやりたい。
- 難しさもたくさんある外国語教育だが、本日の授業のように外国語を学習することを子どもたちと楽しみながら進めることの大切さを改めて感じた。
- 竹内教授が仰っていた「そもそも日本語でできますか？」ということは、とても大切な視点だと思った。英語を使うことができる授業をさらに進めるために、母語を活用するということが、母語のレベルを上げるということはとても大切だと思う。

「体育」授業づくり研修

令和4年11月1日（火）午後3時30分～午後5時に美園小学校で「体育」授業づくり研修を行いました。研修講師はNPB（日本野球機構）の篠原由緯子さん、金子大志さん、オリックス球団OBの塩崎真さん、大久保勝信さん、吉田直喜さんです。研修テーマは「ベースボール型の授業について」でした。授業づくりということで、初めてボールやバットに触れる児

童や生徒にも基本が伝わるように、様々な指導法を紹介していただきました。

また受講者も実際にボールをつかむ、投げる、打つという基本動作を実践し、最後は初心者でも楽しめるやり方で3チームに分かれてゲームを行いました。

つかむ



投げる



素振り



ボールを打つ



ゲーム開始(礼)



ゲーム



<受講者感想>

- 今まで、遊びの中で出来ていた身体の使い方動かし方が出来ておらず、ボールの投げ方や取り方が上手に出来ない生徒が年々増えてきているように感じている。そんな基礎的な身体の使い方をわかりやすく指導する方法を学ばせてもらった。
- 運動が苦手な児童も楽しめるヒントをたくさんいただいた。
- ベースボール型の基礎練習や、試合形式など、子どもたちの意欲を高めるような学習が多かったと思う。

教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も2週間の貸し出しを行っております。今回は10月から11月に配架した雑誌の誌名と目次の一部を紹介いたします。

「指導と評価」（日本教育評価研究会）11月号

- ・特集1 情報教育の充実
- ・特集2 探求×キャリア教育

「道徳教育」（明治図書）11月号

- ・本気の「話し合い」のための全手立て

「こころの科学」（日本評論社）No.226 11月号

- ・特別企画 「助けて」が言えない子ども編 松本俊彦 編



こころの科学「そだちの科学」（日本評論社）No.39 2022年10月

- ・特集 ACEの克服の道を探索する
逆境体験とそだち

※ACE: Adverse Childhood Experiences

虐待や家庭の問題などを含む小児期逆境体験

<雑誌記事を読んで>

上の雑誌「そだちの科学」は専門的な内容の多い雑誌で、半年に1回の発行です。今回取り上げられているACE=Adverse Childhood Experiencesを訳すと「虐待や家庭の問題などを含む小児期逆境体験」ということになるそうです。この体験は「何十年続く毒性を持ち、人間の脳と身体に害を与える。」ということは20世紀の終わりにはきちんとしたエビデンスをもって明らかにされていました。ところが、世界でも日本でも注目されてきたのは最近のことです。さらに戦争や自然災害などによってACEは増加傾向だそうです。（葎仲）

「月刊学校教育相談」（ほんの森出版）11月号

- ・特集1 怒っている子は、困っている子
- ・特集2 受験のプレッシャーがかかりすぎた子へのかかわり

「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社）11月号

- ・特集 カリキュラム・マネジメントの視点を活かす

「初等教育資料」（文部科学省編集、（株）東洋館出版社発行）11月号

- ・特集Ⅰ 情報活用能力の育成
- ・特集Ⅱ [音楽]音楽づくりの指導の充実

「中等教育資料」（文部科学省編集、学事出版）11月号

- ・特集 1人1台端末等を活用した教育実践②
<芸術,家庭,外国語,情報,総合的な探究の時間,特別活動>

教育科学「国語教育」（明治図書）11月号

- ・特集 アイデアを磨く。ICTで変える。
「書くこと」アップデート



教育科学「社会科教育」（明治図書）11月号

- ・特集 もっと上手くなる！
優れた社会科授業づくり実践ガイド

「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）11月号

- ・特集 算数の「個別最適な学び」「協働的な学び」のカリキュラムデザイン

